

作成日 2000年09月04日

改定日 2017年04月03日

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名	液体苛性カリ
品目コード	C0210000
会社名	巽合成化学株式会社
住所	大阪府大阪市西成区北津守4丁目4番21号
担当部門	商品管理部
担当者	商品管理部工場長
電話番号	06-6561-8812
FAX番号	06-6561-5586

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

火薬類	: 分類できない
可燃性/引火性ガス	: 分類できない
可燃性/引火性エアゾール	: 分類できない
支燃性/酸化性ガス	: 分類できない
高压ガス	: 分類できない
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類できない
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 分類できない
酸化性固体	: 分類できない
有機過氧化物	: 分類できない
金属腐食性物質	: 分類できない

##### 健康有害性

急性毒性-経口	: 区分4
-経皮	: 分類できない
-吸入;気体	: 分類できない
-吸入;蒸気	: 分類できない
-吸入;	
粉塵/ミスト	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1B
眼に対する重篤な	: 区分1
損傷性/刺激性	

呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分1
環境に対する有害性	
水生環境－急性	: 分類できない
－長期間	: 分類できない
オゾン層有害性	: 分類できない

## GHSラベル要素

### 絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 呼吸器系の障害 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

### 注意書き

#### 【安全対策】

: 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 容器を密閉しておくこと。  
 屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。  
 粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレー等の吸入をしないこと。  
 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。  
 環境への放出を避けること。

#### 【応急措置】

: 漏出物を回収すること。

吸入した場合 — 被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。  
皮膚又は毛に付着した場合 — 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、又は取り除くこと。皮膚を大量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合は、医師の手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。  
眼に入った場合 — 水で数分間注意深く洗うこと。つぎにコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合 — 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
直ちに医師の診察を受けること。

**【保管】**

: 施錠して保管すること。

**【廃棄】**

容器を密閉にして、直射日光を避け、換気のよい涼しい所で保管すること。  
: 内容物や容器を関係法令に基づき、自社で適正に処理するか、外部に委託するときは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名 (別名)	: 水酸化カリウム溶液 液体苛性カリ、苛性カリ液
成分名	: 水酸化カリウム                      水
化学特性(化学式等)	: KOH                                      H <sub>2</sub> O
濃度又は濃度範囲(含有率)	: 48%以上                                52%未満
官報公示整理番号(化審法)	: I-369                                    該当しない
CAS No.	: 1310-58-3                              7732-18-5
労働安全衛生法	: 316                                        該当しない

---

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、暖かく安静にし、できれば酸素吸入を行う。 直ちに医師による医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。 触れた部分を大量の水を使用して十分に洗い落とす。 直ちに医師の診察を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに多量の水(流水)で15分間以上洗眼(まぶたの隅々まで)する。 コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	: 口を水ですすぎ、速やかに医師の診察を受ける。 意識があっても無理に吐かせてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃性。周辺の火災に適切な消火剤を使用する。
-----	--------------------------

**特有の消火方法** : この製品は燃えないが、移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。  
タンクが火災により加熱されているときは、水噴霧で冷却する。

---

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置  
環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の  
方法/機材** : 極めて腐食性が強いので、作業の際には必ず適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。  
: 濃厚な排液が河川に排出されないよう注意する。  
: 土砂等に吸着させるか、または土砂等でその流れを止め、できるだけ容器に回収する。  
漏出した周囲にロープを張り、「立入禁止」措置を行う。  
回収した後、または回収できない液は希塩酸、希硫酸等で中和した後、多量の水で洗い流す。中和の際に発熱し、飛沫が生ずることがあるので注意する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**技術的対策** : 取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないようにする。  
眼や皮膚を腐食するので、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を必ず着用する。  
取扱い場所の近くに緊急用の洗眼器や身体洗浄を行うための設備を設ける。  
充填又は引取りパイプ中に液を残さないようにする。  
希釈する場合や酸を中和する場合は、発熱を伴うので、攪拌しながら水酸化カリウム水溶液を徐々に加える。逆に水酸化カリウムの濃厚溶液に水や酸を加えると、突沸を起こすおそれがあるので極めて危険である。

**注意事項** : 漏れ、溢れ、飛散等しないように慎重に取扱う。  
腐食性の強い不燃性液体。

**安全取扱い注意事項** : 特になし。

### 保管

**適切な保管条件** : アルカリ性であるので、酸性物質と同じ場所に貯蔵又は保管しないこと。  
空気中の湿気や炭酸ガスを吸収し、品位が低下するので密栓して保管する。  
気温が下がると凝固することがある。

**推奨する容器包装材料** : ステンレス(ローリー)

## 8. 暴露防止及び保護措置

**管理濃度** : 設定されていない。

**許容濃度**

日本産業衛生学会:2007 : 2mg/m<sup>3</sup> (Ceiling)  
ACGIH:2011 : 2mg/m<sup>3</sup> (Ceiling)

設備対策

呼吸器の保護具 : 空気呼吸器を着用する。  
眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡を着用する。  
手の保護具 : ゴム製の手袋を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : ゴム製の保護衣を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体  
色 : 無色透明  
臭い : 無臭  
pH : データなし。  
沸点・初留点・沸騰範囲 : 140℃  
引火点 : 情報なし。  
自然発火温度 : 情報なし。  
蒸気圧 : 0.41 kPa (20℃)  
比重(相対密度) : 1.5 g/cm<sup>3</sup> (15℃)  
水に対する溶解性 : 易溶。  
溶媒に対する溶解性 : 情報なし。  
その他のデータ : 液体で濃度、温度により固化することがある。  
強アルカリ性。酸と反応し中和熱を発生する。  
溶解時に発熱する。

---

10. 安定性及び反応性

安定性 : データなし。  
危険有害反応可能性 : 酸と反応し、中和熱を発生する。  
アルミニウム、スズ、亜鉛、クロム等の金属と反応し、可燃性の水素を発生し、爆発することがあるので注意する。  
危険有害な分解生成物 : データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : 水酸化カリウム 区分4  
ラット LD50 284mg/kg

皮膚腐食性／刺激性	: 水酸化カリウム 区分1B ウサギ : 50mg/ 24h 重度 ヒト : 50mg/ 24h 重度 (固形水酸化カリウム)
眼に対する重篤な損傷 ／刺激性	: 水酸化カリウム 区分1 ウサギ : 1mg/ 24h 中等度 モルモット : 50mg/ 24h 重度 (固形水酸化カリウム)
生殖細胞変異原性 発がん性	: データなし。 : 日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARC のいずれにも記載なし。 (以上、固形水酸化カリウム)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 水酸化カリウム 区分1 (呼吸器)
吸引性呼吸器有害性 人の健康に対する有害性	: 水酸化カリウム 区分1 : この液体と接触すると、皮膚及び眼は重症の深部に達するただれを起こす。 誤って飲み込めば、消化器官に広範囲の組織の破壊が起き、激痛、嘔吐、声門 水腫、ショック等の症状があらわれる。
その他	: 人についての症例 接触による皮膚や粘膜の薬傷は、酸に比較してアルカリのたんばく質に対する 溶解性に基づくため、一般的には傷面は湿潤であり、潰瘍は深く、かつ進行 しやすい。従って酸による薬傷よりも重篤。たんばく質を溶解する力はNaOH より強く、ミスト吸入による化学性気道炎、皮膚や粘膜の接触による薬傷は NaOHより重篤。

## 12. 環境影響情報

	: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意 する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生態毒性	
魚	: 水に溶けてアルカリ性を示す。水生生物にとって有害である。
残留性／分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
その他	: 強アルカリ性で環境にとって有害である。 漏洩したときは魚介類、動物及び植物に対して注意する。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 「毒物および劇物の廃棄方法に関する基準」に従って、無害化してから廃棄する。 攪拌しながら、水を加えて希薄な水溶液として、酸(希塩酸、希硫酸等)で中和 させた後、多量の水で希釈して処理する。 廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されているので、収集・運搬・処分は
-------	---

## 汚染容器及び包装

- 定められた基準に従って処理すること。  
廃棄処理に伴う生成物については、水質汚濁防止法等諸関連法令に適合するよう十分留意しなければならない。
- : 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

---

## 14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 1814
- 国連分類 : Class 8
- 容器等級 : Group II
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えないよう取扱う。  
車両に積載する場合、酸類から遠ざける。また有機薬品の上に積み重ねてはならない。  
運送中は容器が横転しないように積載し、休憩時など盗難紛失に注意する。  
ローリー又はコンテナの場合、充填又は払出し時は保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣等の保護具を着用し、充填又は払出しパイプ中に液を残さないようにする。  
5t以上の量を車両で運搬する場合は、交換運転者、標識、保護具、緊急時の措置を記載した書面等、毒劇物取締法により定められた事項を順守すること。  
毒劇物法に定められた運送方法に従う。  
紛失に注意する。
- その他 : 運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

## 15. 適用法令

- 化学物質管理促進法 (PRTR法) : 該当しない。
- 毒物及び劇物取締法 : 劇物 (水酸化カリウム 48%以上)  
(第2条別表第2)
- 労働安全衛生法

表示及び通知対象物質 : 316 水酸化カリウム  
(法第57条1及び2、施行令第18条1及び2 別表第9)

その他の法令

海洋汚染及び海上災害の  
防止に関する法律 : 有害性物質 Y類物質

船舶安全法 : 腐食性物質

港則法 : 腐食性物質

航空法 : 腐食性物質

外国為替及び外国貿易法 : キャッチオール規制品目  
(輸出貿易管理令 別表第1 第16項)

---

## 16. その他の情報

### 引用文献

1. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH), 1999
2. 製品安全データシート「液体苛性カリ」 日本ソーダ工業会, 1993

### その他

SDSは事業者を対象とした文書です。  
全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。  
また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。  
重要な決定等に利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって  
確かめることをお勧めします。記載のデータや評価に関してはいかなる保証を  
するものではありません。  
また、記載事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いを  
する場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施した上、お取扱い願  
います。当製品の譲渡時には本SDSを添付してください。